

平成24年度入学試験問題（後期日程）

小 論 文

観光産業科学部 観光科学科

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

アジア諸国をはじめ、多くの国では観光振興が開発戦略の柱の1つとなっている。我が国においては、訪日観光客数よりも日本人海外旅行者数が継続的に上回り、旅行収支はマイナスが続いている。これを是正するなどの目的で、2008年（平成20年）10月1日に国土交通省内に観光庁が設立された。独立行政法人国際観光振興機構の推計値は、2010年の訪日外国人旅行者数は861万人であるが、観光庁の訪日旅行促進事業（ビジット・ジャパン事業）の将来的な目標値は3,000万人である。

近年まで訪日外国人観光客は増加してきたが、順調であったわけではない。特に平成23年3月11日に起こった東日本大震災後は、訪日観光客数が伸び悩んでいる。

これらを踏まえ、観光振興によるメリットとデメリットについて800字以上、1200字以内で整理し、かつあなたの考えを述べなさい。

平成24年度入学試験問題（後期日程）

小論文

観光産業科学部 観光科学科

問題の意図

この小論文の出題の意図は次の通りである。

- ①観光振興のメリットとデメリットを客観的に把握しているかを確認する
- ②国際感覚をどの程度身につけているかを把握する
- ③思考の論理性と表現力を把握する

以上について、受験生の適性をみる。

(以上)